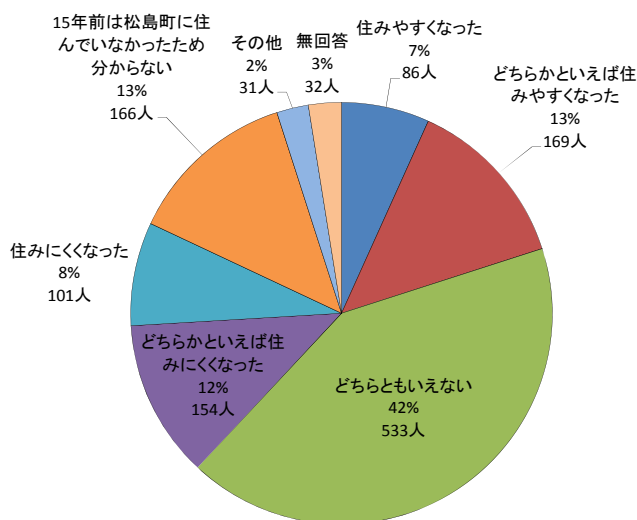


2) 15年前との住みやすさの比較【問4】

◆単純集計

「どちらともいえない」が42%と高く、「住みやすくなった」、「どちらかといえば住みやすくなった」の合計値と、「住みにくくなった」、「どちらかといえば住みにくくなった」の合計値が20%と同程度となっており、**15年前と住みやすさは変わっていないと感じている人が多い傾向にある。**

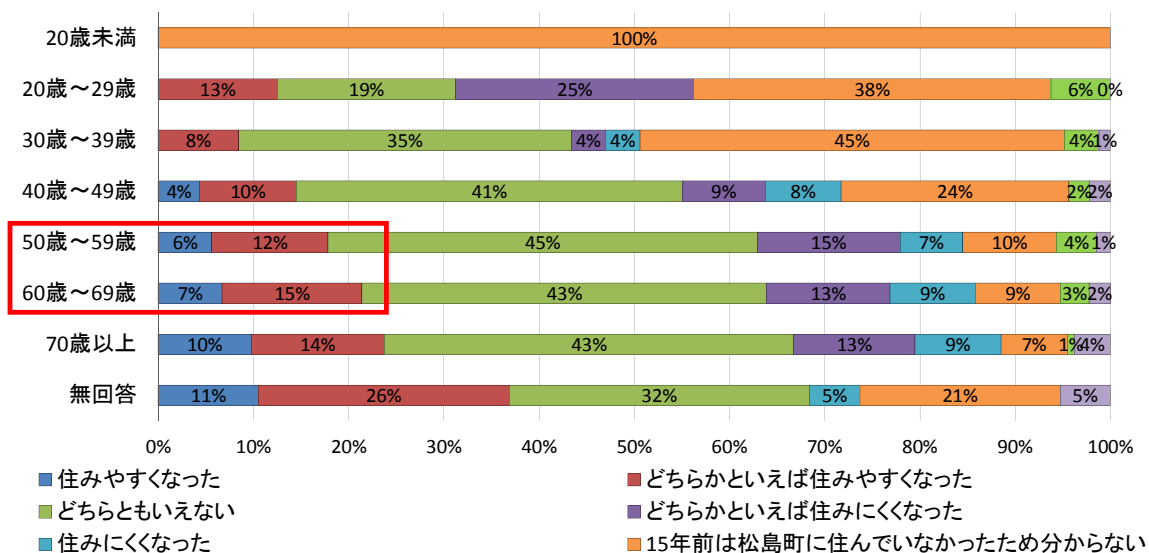


◆クロス集計【年齢×住みやすさ(15年前比較)】

年齢別に見ると、概ね「どちらともいえない」が多い傾向にあるが、**20代は「どちらかといえば住みにくくなった」が多くなっている。**なお、**15年前と比べて住みやすくなったと感じている人の割合は、高齢者ほど多い傾向にある。**

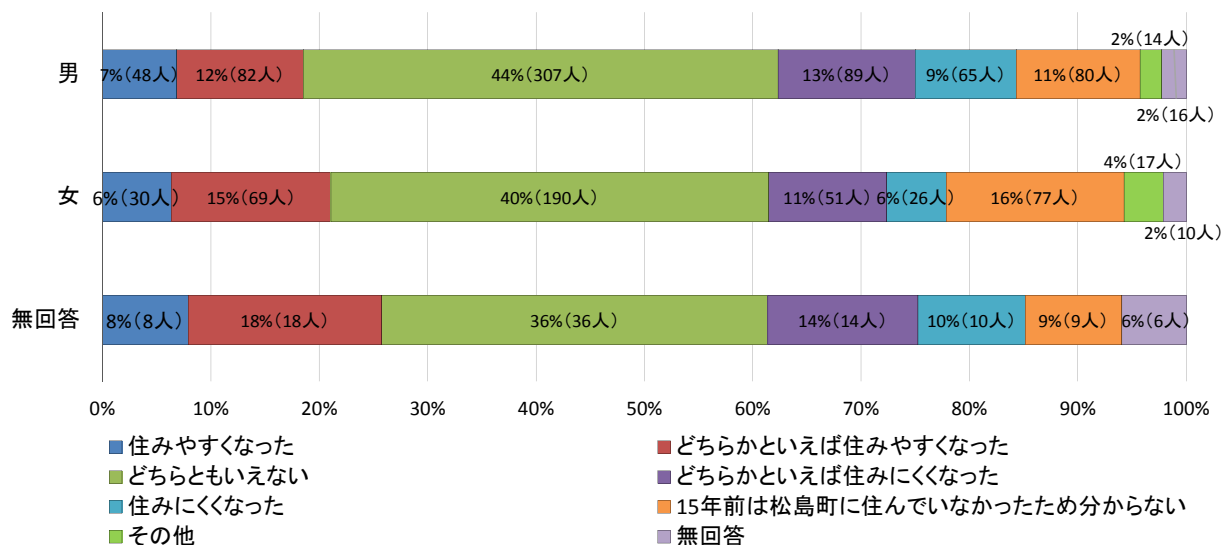
(単位:人)

	住みやすくなった	どちらかといえば住みやすくなった	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくくなった	住みにくくなった	15年前は松島町に住んでいなかったため分からない	その他	無回答	計
20歳未満	0	0	0	0	0	1	0	0	1
20歳～29歳	0	2	3	4	0	6	1	0	16
30歳～39歳	0	7	29	3	3	37	3	1	83
40歳～49歳	6	14	56	12	11	33	3	3	138
50歳～59歳	12	26	96	32	14	21	9	3	213
60歳～69歳	27	59	171	52	36	36	12	9	402
70歳以上	39	56	172	51	36	28	3	15	400
無回答	2	5	6	0	1	4	0	1	19
計	86	169	533	154	101	166	31	32	1272



◆クロス集計【性別×住みやすさ(15年前比較)】

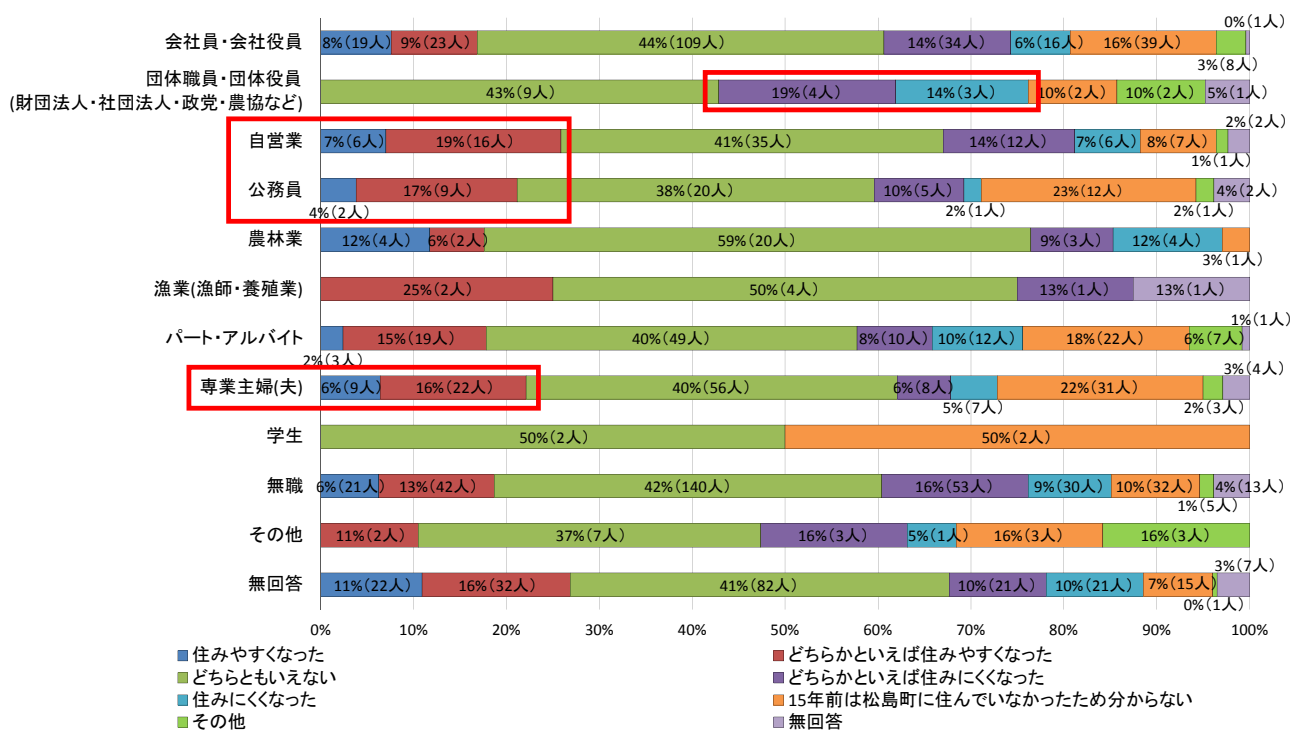
性別で見ると、「どちらともいえない」が男性、女性とも多く、性別では有意な差は見られなかった。



◆クロス集計【職業×住みやすさ(15年前比較)】

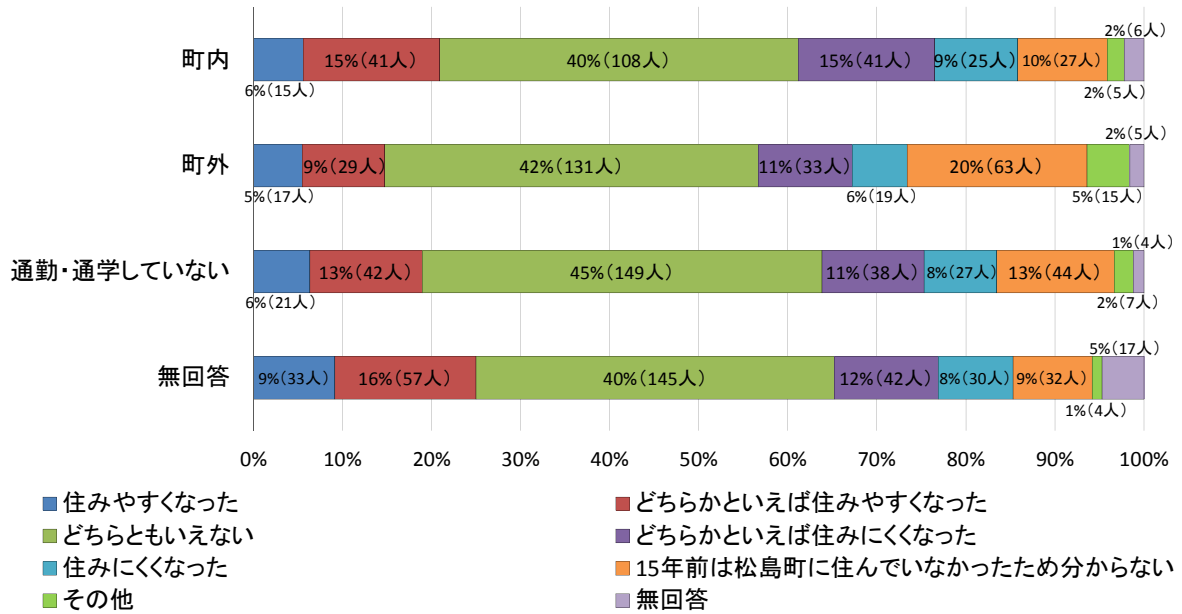
現在の職業別に見ると、全ての職業で「どちらともいえない」が多いが、以下の傾向が見られる。

- ・「**自営業**」、「**専業主婦(夫)**」、「**公務員**」は、「住みやすくなった」「どちらかといえば住みやすくなった」の合計値の割合が否定派に比べ多い。
- ・「**団体職員・団体役員(財団法人・社団法人・政党・農協など)**」については「住みにくくなった」「どちらかといえば住みにくくなった」の合計値の割合が肯定派に比べ多い。



◆クロス集計【通勤・通学先×住みやすさ(15年前比較)】

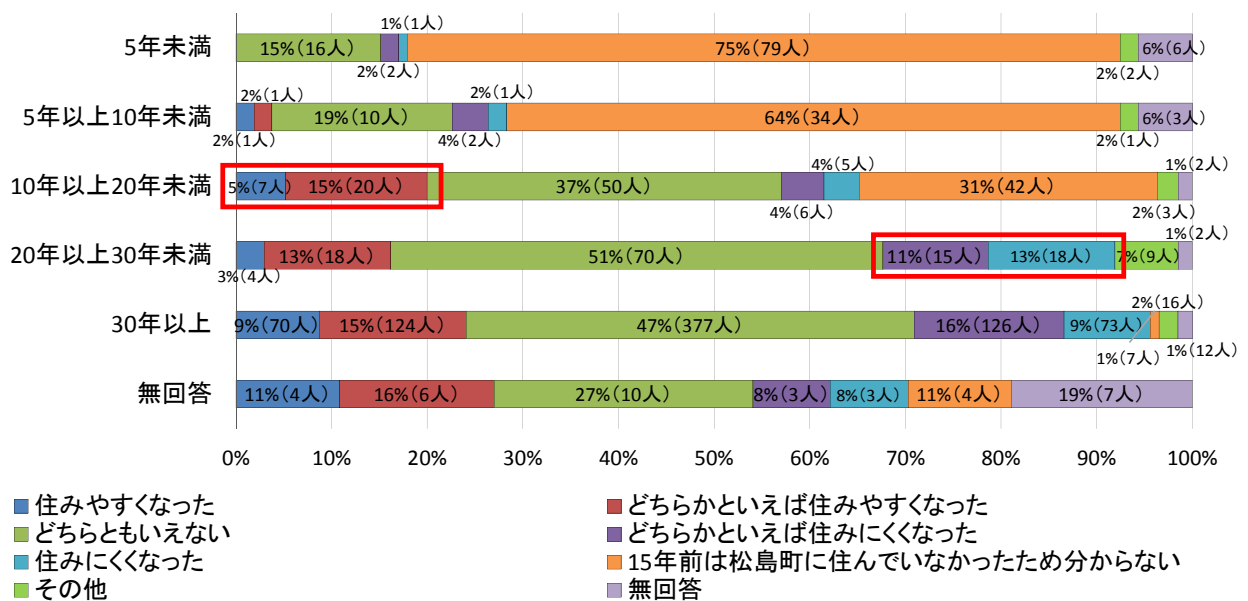
通勤・通学先で見ると、全ての通勤・通学で「どちらともいえない」が多く、通勤・通学先では有意な差は見られなかった。



◆クロス集計【居住年数×住みやすさ(15年前比較)】

居住年数別に見ると、概ね「どちらともいえない」が多いが、以下の傾向が見られる。

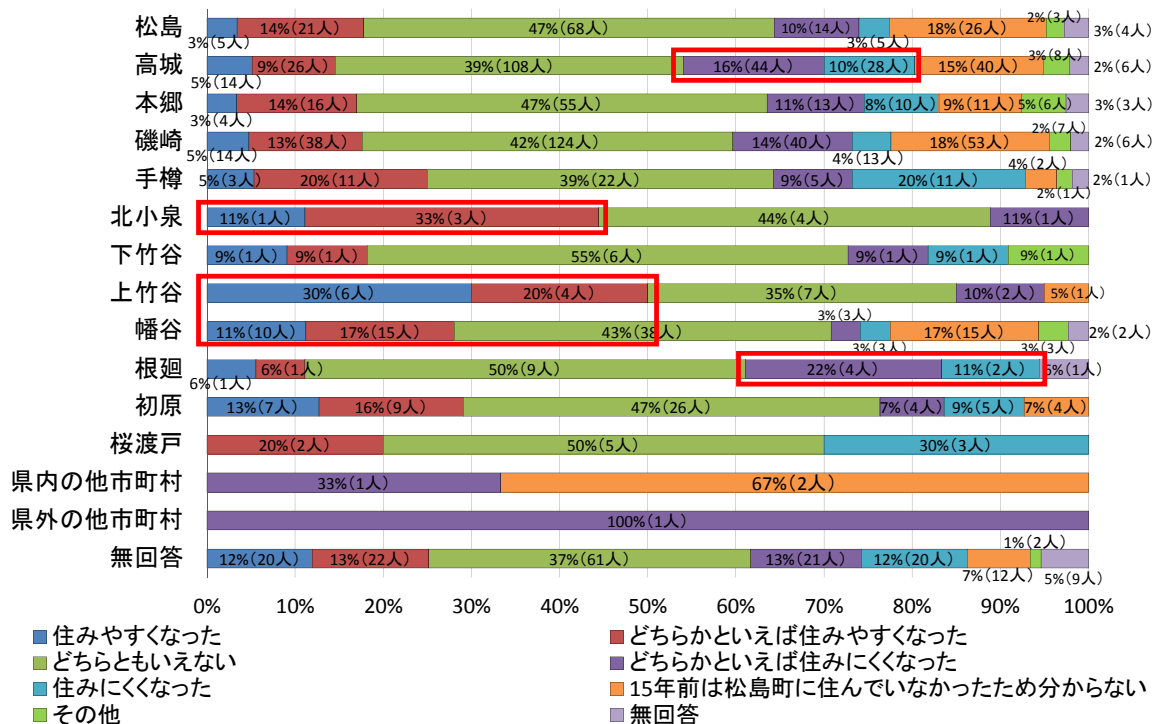
- ・「10年以上20年未満」は「住みやすくなった」「どちらかといえば住みやすくなった」の合計値の割合が否定派に比べ多い。
- ・「20年以上30年未満」は「住みにくくなった」「どちらかといえば住みにくくなった」の合計値の割合が肯定派に比べ多い。



◆クロス集計【居住地×住みやすさ(15年前比較)】

居住地別に見ると、概ね「どちらともいえない」が多いが、以下の傾向が見られる。

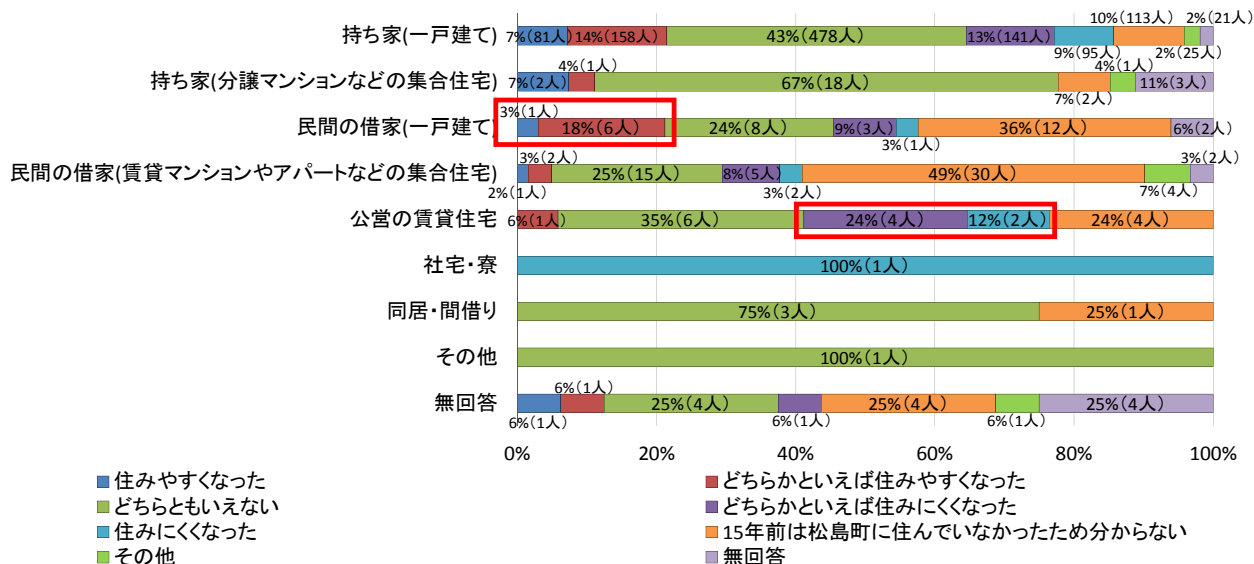
- ・「北小泉」、「上竹谷」、「幡谷」などの北部地域については「住みやすくなった」「どちらかといえば住みやすくなった」の合計値の割合が否定派に比べ多い。
- ・「高城」、「根廻」については「住みにくくなった」「どちらかといえば住みにくくなった」の合計値の割合が肯定派に比べ多い。



◆クロス集計【住居の種類×住みやすさ(15年前比較)】

住居の種類別に見ると、概ね「どちらともいえない」が多いが、以下の傾向が見られる。

- ・「民間の借家(一戸建て)」は「住みやすくなった」「どちらかといえば住みやすくなった」の合計値の割合が否定派に比べ多い。
- ・「公営の賃貸住宅」は「住みにくくなった」「どちらかといえば住みにくくなった」の合計値の割合が肯定派に比べ多い。



◆クロス集計【家族構成×住みやすさ(15年前比較)】

家族構成別に見ると、全ての家族構成で「どちらともいえない」が多いが、以下の傾向が見られる。

- ・「**自分(たち夫婦)と親**」、「**三世代(親・子・孫など)**」は、「住みやすくなった」「どちらかといえば住みやすくなった」の合計値の割合が否定派に比べ多い。

